

議会だより

第187号

令和6年
2月発行

さんじょう ゆ あ
題字：金城 有杏さん
嘉手納小学校5年



～主な内容～

令和5年12月定例会	P2
研修会・視察など.....	P3
意見書・決議、防錆整備格納庫視察（岐阜）...	P4～P5
町政を問う！15名の議員が一般質問 ...	P6～P21
題字紹介、職人・人物紹介.....	P22

まちの職人・人物紹介 Vol.12
上間 靖 さん

[嘉手納町議会ホームページ](#) [嘉手納町議会](#) [検索](#)

町議会を傍聴しましょう！定例会は3・6・9・12月に開かれます。

12月
定例会

令和5年第30回12月定例会が12月12日から19日までの日程で開催された。本定例会では一般会計及び特別会計補正予算や指定管理の指定を含む議案25件、発議4件（内意見書1件・決議1件）、選挙2件を可決した。一般質問では15人が活発な議論を展開。

12月定例会・11月臨時会補正 (1万円未満切り捨て)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計（6号～8号）	2億2251万円	141億1088万円
国民健康保険特別会計（3号～4号）	2232万円	20億985万円
後期高齢者医療特別会計（2号）	16万円	2億9021万円

主な事業

- 重点支援地方交付金（低所得世帯支援枠）デフレ完全脱却のための総合経済対策
価格高騰支援給付金事業 対象：令和5年度非課税世帯（12月1日基準日）
金額：1世帯当たり7万円×1650件想定 対象者へ事前通知で支給予定

12月定例会の主な議案

議案番号	件名	議決結果
議案第64号	水釜第二町営住宅併行防音工事（建築）請負契約について	原案可決
議案第65号	水釜第二町営住宅併行防音工事（除湿・換気）請負契約について	原案可決
発議第10号	嘉手納町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決
発議第11号	嘉手納町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例について	原案可決
	選挙管理委員の選挙 （古謝政則氏、前原信昭氏、宮里郁子氏、玉城進氏）	当 選
	選挙管理委員補充員の選挙 （眞壁孝氏、多和田和美氏、嶺井末子氏、奥間功二氏）	当 選

賛否が分かれた主な議案 (令和5年度 第28回 臨時会)

議案	件名	議決 月日	賛成 者数	反対 者数	嵩 原	福 地	仲 村	志 喜 屋	花 城	宇 榮 原	古 謝	安 森	新 垣	照 屋	當 山	金 城	奥 間	田 崎	石 嶺	仲 村
可決	米軍無人偵察機の嘉手納基地配備計画に抗議する意見書・決議				妙子	義広	一也	孝也	勝男	京一	友義	盛雄	貴人	唯和男	均	利幸	常明	博美	邦雄	兼栄
発議第4・5号		10/30	11	3	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	○	×	○	○	-

「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席 「早」：早退 議長は賛否同数以外は採決に加わらないので「-」で表示。

**中部地区町村議会議員・
事務局職員研修会**

令和5年10月10日北谷町ニライセンターにて中部地区町村議会議長会主催による研修会が開催された。議会運営事例報告・議員としての心構えについて沖縄県町村議会議長会アドバイザー石垣安秀氏が定足数の原則・団体意思と機関連想を決定する議案の提出要件・討論に対する質疑・討論と認められない発言の取り扱い・新人議員として心がけたいこと・一般質問で留意し努力したい事項等を講演。今後の議会活動に活かしていきたい。



**町村議会議員・
事務局職員研修会**

令和5年11月8日読谷村鳳ホールにて開催・野菜ソムリエ日本一、ベジフルマンマ代表者徳元佳代子氏講演「失敗から学んだ」地域農産物の魅力と農業の可能性。
農業の苦楽を知る立場と、がんを患った経験から、農業と食べ物と健康は切り離せないと感じ付いた。農業と健康の間に立つ仕事があったらいい、失われつつある沖縄の健康長寿を取戻し、病気になるにくい野菜の食べ方や食育の大切さを伝えた。



文教厚生常任委員会視察

嘉手納小学校・中学校現地視察（令和6年1月11日・1月16日）
嘉手納小学校・中学校においてGIGAスクール、タブレットでの授業風景を各学級視察した後、いじめや不登校問題についての学校の取り組みや、各校の職員、支援員等の体制状況、中学校部活動地域移行等の現状、課題、要望について意見交換会を実施した。様々な課題や要望があり、行政と協議連携を行い課題解決に向けて取り組むたい。



嘉手納中学校での視察



嘉手納小学校での意見交換

**水釜第二町営住宅
安全祈願祭**

令和5年11月21日、水釜第二町営住宅安全祈願祭が挙行された。同住宅A・D棟の4棟を1棟に集約して建て替え、総戸数を既存の64戸から90戸に増戸。住戸タイプは1LDK5戸、2DK35戸、3DK41戸、3LDK9戸。2・10階が住戸で2基のエレベーターを設置し、90台分の駐車場確保。住宅は津波避難ビルに位置づけ、屋上には避難空間を設ける。



令和5年10月30日 発議4・5号

米軍無人偵察機の嘉手納 基地配備計画に抗議する 意見書・決議

令和5年10月6日來訪の防衛省幹部から町に対し、無人偵察機MQ9の嘉手納基地配備計画（8機、11月から無期限）が説明された。同機は8月に鹿屋基地で滑走路逸脱事故を発生させたが、事故原因は公表されていない。町民の不安と懸念を無視した強行配備は断じて認められない。議会は町民の生命、安全等を守る立場から、計画に抗議し、計画見直し等を求めて意見書・抗議決議を賛成多数で可決した。



外務省沖縄事務所へ要請

令和5年11月27日 発議6・7号

F15戦闘機退役に伴う巡回 配備以降の騒音激化に嚴重 抗議する意見書・決議

常駐配備のF15の段階的退役に伴う巡回配備以降、騒音が増大している。とりわけ、F35等が巡回配備された令和5年4月から10月までの7カ月間における90dB以上の激しい騒音は屋良局2113回（前年比約5.6倍）、他測定局においても激増している。そして昼夜を問わない騒音も、相も変わらず撒き散らされている。議会は町民の生命、安全等を守る立場から、夜間訓練禁止等を求めて意見書・抗議決議を可決した。



沖縄防衛局へ要請

令和5年12月12日 発議8・9号

屋久島沖での米軍CV22 オスプレイの墜落事故に 対する意見書・決議

令和5年11月29日午後2時40分頃、横田基地所属CV22オスプレイが岩国基地から嘉手納基地に向け飛行中、鹿児島県屋久島沖に墜落（搭乗者8人全員死亡）した。沖縄県・基地周辺自治体が発生原因究明までの間、飛行停止を求める中、事故翌日にはMV22オスプレイ2機が嘉手納基地に飛来した。町議会は町民の生命、安全等を守る立場から嘉手納基地へのオスプレイの飛来中止等を求めて意見書・抗議決議を可決した。

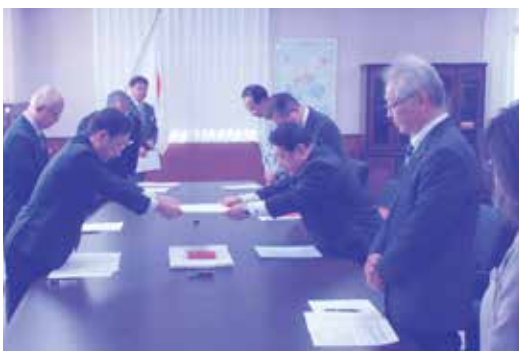


全会一致で可決

令和5年12月25日 発議12・13号

F35A戦闘機のパネル落 下事故に対する意見書・ 抗議決議

令和5年12月18日F35A戦闘機が訓練中にコックピット右側にある機体パネル（長さ約45cm、幅約30cm、重量約900g）を落下させる事故が発生した。町民に与えた不安と恐怖は計り知れず、米軍の整備点検及び安全管理体制の欠如に対し強い憤りを感じる。議会は町民の生命、財産等を守る立場から、事故原因の究明、有効な再発防止策が講じられるまで同機の飛行停止等を求めて意見書・抗議決議を可決した。



沖縄防衛局へ要請

令和5年12月25日 発議14・15号

嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に抗議する意見書・決議

米軍は三連協・沖縄県の中止要請を無視し、令和5年12月19日午後7時50分頃、嘉手納基地でパラシュート降下訓練を強行した。住民居住地が近接し重大な事故に繋がり兼ねず、周辺住民の平穏な暮らしを脅かすものであり断じて容認できない。議会は住民の生命、財産等を守る立場から、米軍パラシュート降下訓練の禁止等を求めて意見書・抗議決議を可決した。



沖縄防衛局前で取材を受ける議長と基地対策特別委員

令和6年1月26日 発議16・17号

相次ぐ米軍パラシュート降下訓練に厳重に抗議する意見書・決議

令和6年1月19日、米軍は三連協・沖縄県の強い中止要請を押し切り、またしても「例外的措置」を盾に嘉手納基地においてパラシュート降下訓練を強行した。

同訓練は昨年12月19日に続き2か月連続で行われている。本町は住民居住地に極めて近接していることから、一歩間違えば重大な事故につながり兼ねず、同基地でのパラシュート降下訓練は断じて容認できず強い憤りを禁じ得ない。

議会は住民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、相次ぐ米軍パラシュート降下訓練に対し厳重に抗議する意見書・決議を可決した。



沖縄防衛局へ要請

川崎重工業岐阜工場を視察研修

1月23日、岐阜県の川崎重工業(株)岐阜工場の防錆整備格納庫視察に、議員13名が参加した。嘉手納基地内に建設予定の防錆整備格納庫の調査研究のため、川崎重工業岐阜工場の塗装作業格納庫と防音壁、施設管理状況等について、現場視察と担当職員との意見交換を行った。

川崎重工業は、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001に準拠した事業運営を行っており、毎年立入審査を受けるなど、第三者機関による厳格な審査を受けてISO14001の認証を維持している。(更新期間は3年)

岐阜工場の塗装作業格納庫の面積は、各棟合わせて約9900㎡あり、視察当日には海上自衛隊の大型機種が塗装剥離の準備を行っていた。格納庫内に悪臭はなく、格納庫外側には大型の換気ダクトが設置されていた。住宅地との距離が約35mと隣接しているが、騒音について

は45dB以下で管理されていた。

周辺住民から塗装ハンガーにかかわる騒音・悪臭についての苦情等はないかとの問いには、騒音・悪臭の苦情は過去10年以上発生していない、との回答があり、また、洗浄作業用に使った排水をどのように処置しているのかとの問いには、作業から発生する排水は工場内の排水処理施設にて適切に処理するとともに、木曽川下流域にあたる名古屋市が実施する排水の自主検査にも、要請に応じて採水に協力しており、過去に一度も採水結果で基準超過したことはない」と説明を受けた。



川崎重工業(株)岐阜工場

町政を問う

題字：當山 均 議員

15人の議員が一般質問

(質問順)

花 城 勝 男…………… P 7

嘉手納町財政を問う

金 城 利 幸…………… P 8

比謝川の下を通れる遊歩道接続でさらなる利便性と
好感度アップを実現せよ(再確認)

照 屋 唯和男…………… P 9

嘉手納町人口減少対策住環境検討業務報告について

志喜屋 孝 也…………… P10

兼久海浜公園・水釜海岸護岸全般を問う

安 森 盛 雄…………… P11

町内の不登校について問う

古 謝 友 義…………… P12

物価高に対する支援策を問う

福 地 義 広…………… P13

嘉手納基地パパープ内への
防錆整備格納庫建設計画について

仲 村 一…………… P14

比謝川沿いを問う

當 山 均…………… P15

「防錆施設建設」政府に対し各種環境基準値の
調査及び調査結果公開を求めよ

新 垣 貴 人…………… P16

商工業の活性化へ向けて

嵩 原 妙 子…………… P17

がん患者アピアランスケア用品購入費補助について

石 嶺 邦 雄…………… P18

本町の職員人事配置は

奥 間 常 明…………… P19

実質無利子・無担保融資(ゼロゼロ融資) 返済の実状は

宇榮原 京 一…………… P20

本町の人材育成事業は

田 崎 博 美…………… P21

米軍基地被害難民の救済措置について





花城 勝男

詳しくは動画をCheck→



嘉手納町財政を問う

問 2022年度の積立基金額は。また、累計総額の積立基金額は。

企画財政課長 基金額は6億6231万円。累計総額は136億798万7千円。

問 国は2022年度末残高の積立基金16兆円の点検、検証、見直しに取り組みと表明。嘉手納町の過剰積立金136億円の点検、検証、見直しの取り組みは可能か。

企画財政課長 公共施設等整備基金や特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金等の目的基金は施設整備に向けての使用目的。財政調整基金は災害復旧、地方債の繰上償還、財源の不足のときに備える基金。点検、検証、見直しに取り組み予定はない。
問 物価高騰対策で①国による非

課税世帯に対して7万円給付事業に町の追加対策でプラス5万円の給付対策か商品券対策を実施できないか。②国の定額減税対策である課税者、扶養者を含む1人当たり4万円減税対策に町の追加対策でプラス2万円の給付対策か商品券対策の実施を財政調整基金57億9千万円から取り崩して、2023年度内か年明けに実施できないか。

企画財政課長 ①補正予算で、非課税世帯に対する7万円の給付事業を計上。商品券対策は、国の動向等に注視しながら検討。②定額減税対策は12月中旬に税制改正の中で公表。現時点では詳細の内容が不明で今後の国の動向等に注視し検討したい。

2021年度/類似団体との基金及び補助率等比較					
2021年時点(百万円)	嘉手納町	金武町	恩納村	宜野座村	本部町
①積立基金合計	12,263	3,702	5,560	4,895	2,686
②財政調整基金	5,795	1,245	1,109	922	1,726
標準財政規模に対する割合	12.4%	31%	29%	36%	40%
③目的基金、その他	5,707	2,166	3,967	3,784	495
④減債基金	763	290	484	189	428
⑤11年平均歳出額	9,342	10,640	9,898	7,908	8,604
人口	13188人	11359人	10303人	6212人	12958人
基地負担率	82.0%	55.6%	29.2%	50.7%	0%
11年平均経常収支比率	73.9%	84.0%	79.8%	81.5%	87.9%
⑥11年平均町民補助率	13.4%	22.9%	16.0%	23.0%	11.5%

人口減少対策住環境検討業務報告書と人口増対策を問う

問 現在の嘉手納町人口減少の現状と課題は。

企画財政課長 令和5年10月末現在1万3032人。平成25年10月末は1万3852人。10年間で820人の人口が減少。課題は減の人口を増加させることが重要。

問 土地活用に対するランドバンク事業の概要とは。

企画財政課長 大規模な低未利用地接道不良の宅地等を抽出し、権利者への意識啓発等を展開、必要に応じ町が主体となり土地の有効活用事業を展開したい。

問 土地・住宅改善に対するコンシェルジュ事業の概要とは。

企画財政課長 土地、建物の資産活用。住まい探しやマツチングなど住宅に関する相談や子育て等に関する相談に乗る連携体制を構築。建物リフォームやコンバージョン、住まい探しやマツチングなど、住宅に関する情報周知、相談、提案を受け気軽に相談できる環境を整え、役場と民間事業者による連携体制を構築する。

問 2028年度人口目標1万4千人必達のために、①小中義務教育の完全無償化対策(財源1億2千200万円)の実施②0歳から2歳までの所得制限なしの完全無償化と副食費無償化対策(財源5千500万円)を2024年度より実施できないか。

教育指導課長 ①小中義務教育の無償化は、今後その可能性について検討していきたい。

こども家庭課長 ②保育料及び副食費の無償化は第二子以降の無償化及び副食費の無償化について、実施が可能か検討したい。

エイサーまつりを問う

問 嘉手納町旧暦7月16日の道ジュネーエイサーまつり(総来場7千人規模)を2024年度は、イベント会社に予算300万円程度で委託し①旧まつみ通りでは出店イベントゾーン②エイサー演舞まつりゾーンは新町通りで開催できないか。
産業環境課長 2024年度のエイサーまつりの日程及び開催場所は、実行委員会が関係各団体と意見を交わし、外部への委託等も含めて検討したい。



比謝橋（上）川満潮時の水位 橋の前方奥に堰撤去現場

閻令和4年度議会でも提案している比謝川の下をくぐる遊歩道の接続についての見通しは。

比謝川の下を通れる遊歩道接続でさらなる利便性と好感度アップを実現せよ（再確認）



金城 利幸

詳しくは動画をCheck→



都市建設課長 ご提案の実現で比謝川を満喫できることは想定でき

るが、大雨、台風時の安全面の不安はある。県とも相談し堰撤去後の河川状況を観察しながら比謝川の魅力を上げたい。

屋良城跡公園再生の間の比謝川環境整備・安全性の確保を

閻比謝橋から屋良城跡までの河川沿いの雑草密集化で川面が見えない箇所が増えて衛生・安全性・危険性が危惧される。県との連携で早目の保安対応を。

都市建設課長 町でも現状を確認しており、県と連携をとって取り組みたい。

閻清潔感が悪く薄暗いところに犯罪が多い。屋良城跡や周辺の落書き防止対策も急がれる。

都市建設課長 町内の至るところで被害。適宜、警告表示や修繕を実施している。同時に嘉手納警察署に被害届も提出している。

閻効果的な条例制定の検討を。**都市建設課長** 他の自治体での条例制定実績等も参考にして改善に向けて取り組むたい。



屋良城跡（右上）周辺 雑草密集で薄暗く危険不安

防錆整備格納庫問題・岩国基地施設視察の動向は

閻国は岩国基地（山口県）に所在する同種の格納庫を町や議会に視察案内するとしたが、3カ月以上が経過。その動向は。

町長 沖縄防衛局・外務省沖縄事務所や防衛外務省本省への定期要請時等でも要請を行っているが、日程調整に至っていない。

閻視察実施までの間に現場や現物の写真や動画などの事前説明はできないのか。なぜ時間が掛かるのか。岩国基地の同施設の視察は実現できるのか。

町長 町はその理由を把握してお

らず、答える立場にない。同施設視察実施は重要と考える。視察実現に努めていきたい。

無人偵察機MQ9の強制移転と町長の基本姿勢を伺う

閻議会は「MQ9の配備計画に抗議する」決議意見書を可決し要請行動を実施。富山町長も現時点では受け入れを拒否する姿勢を報道で明らかにした。その決意について伺う。

町長 ①24時間活動する航空機で深夜早朝の騒音が危惧される。②海外での事故や鹿屋基地でのオーバーラン事故を踏まえ同機種の実用性に懸念や不安。③すでに過重な基地負担を負っており受け入れの状況にはない。

閻鹿屋市と九州防衛局は住民の安全安心の確保に努める協定書を締結。嘉手納基地周辺自治体にはその対応はない。この人権的不平等に大きな疑念はないか。

町長 三連協の同種の質問に対し「自衛隊基地への米軍部隊の配備と米軍基地への米軍部隊の配備の違い」と回答説明している。



照屋 唯和男

詳しくは動画をCheck→



嘉手納町人口減少対策 住環境検討業務報告について

問 人口減少を取り巻く現状や要因課題を町はどのように認識しているか。

企画財政課長 人口減少問題は喫緊の課題で早急に対応する必要がある。要因課題は、少子高齢化問題、若年層の人口流出問題。**問** 子育て世帯に向けた住宅所得支援の検討は。また、子育て世帯向けの家賃補助を今後どのように取り組んでいくか。

企画財政課長 住宅所得支援は、現在検討していない。子育て世帯向けの家賃補助、他市町村事例を調査研究している。

問 低未利用地の活用促進（ランドバンク事業）の内容と町の考えている地区の取り組みは。

企画財政課長 大規模な低未利用地、接道不良住宅地を抽出し、

権利者への意識啓発等を展開。必要に応じ町が主体、モデルケースとして中央区のリパロ周辺、西区の古謝商店の周辺を想定。

問 防衛局の買い上げた土地を公園や駐車場と交換していくことを検討されている内容は。

企画財政課長 国有財産において、公的な土地活用は可能とされている。その活用を図りながら公園から住宅地への転用ができないか検討。防衛局に問い合わせてたところ、全国で転用が行われた事例がある。

問 住まいのコンシェルジュの計画内容は。

企画財政課長 資産活用、住宅に関する相談や、役場と民間事業者による連携体制を構築。

問 令和5年から実施できるものとして結婚祝い金や建築物除去補助金、出産祝い金、結婚生活支援金が挙げられているが、令和5年実施予定か。

企画財政課長 早めに行えるものを想定しているところ。どの事業を先に手がけたほうがいいのか子育て支援に関するところと協議を進めている。

問 町としては高度利用と駐車場の

問題に取り組みないといけないと、人口増につなげるにはそこが必要。基地との関連から、防災上の避難所として地下駐車場のようなものを作るべきでは。商工会から提案書も出ていると思うが、国から補助金をうまく引き出すノウハウを研究していないか。

都市建設課長 高度利用駐車場問題。地下駐車場の提案等も含めて検討作業を行っている。高度利用については、重要なキーワードと捉えている。補助金については、関係機関と意見交換を行っていききたい。

問 旧国営館土地周辺で動き出している優良建築物等整備事業で、担当課として取組状況は。都市建設課長 町長より行政が何をしたらいいのか情報収集を行うよう指示を受けている、県内での事例がなく、関係機関である沖縄県、沖縄総合事務局と情報交換を行っている状況。

保育所運営がどのように進められて考えられているか

問 第二保育所について令和7年度に取り壊しまでの、それに至

るまでの経緯と、令和5年度募集の際に、次年度閉所計画の説明があったか。

子ども家庭課長 保育ニーズ量が減少している点及び施設の老朽化への対応として、段階的に廃止。入所募集の時点では、廃止計画が決定していなかったことから説明等は行っていない。

問 第二保育所を壊すまでの間、どのような形で運営していくのか。

子ども家庭課長 令和6年度は規模を縮小し、約20名程度の保育所として運営を予定。新規私立認可保育所の整備が、事業の遅れ等から令和6年5月へと工期変更。その間の保育は園児や保護者の負担等を考え、現在の第二保育所の空き教室を活用。



閉所予定の第二保育所



水釜第二団地C棟近く
長階段にスロープ設置を



北谷宮城護岸スロープ

問 水釜第二団地C棟近くの護岸の階段にスロープと海浜公園までの護岸にスロープ、東屋とクッション材アンツーカー設置を。

兼久海浜公園・水釜海岸護岸全般を問う



志喜屋 孝也

詳しくは動画をCheck→



都市建設課長 管理している県からの回答では、現在の護岸を一部でも取り壊すことは構造上困難。護岸を掘り込んだのスロープ設置は難しい。東屋や、クッション・アンツーカーは護岸の強靱化対策を行っており困難。

問 公園内の仮事務所近くの壁のペンキはがれと、クッション性のアンツーカーの公園内一周の設置を。

都市建設課長 公園内を周回できる園路は次年度実施設計を行い整備する。

問 公園への健康遊具の設置を。

都市建設課長 設置の基本設計を行っており整備する。

問 護岸壁の落書きの問題（違反の看板設置）犬の糞の飼い主への注意看板（英語・日本語）設置を。

都市建設課長 県に対応を要請。並行して町の注意サインの貼り付けを取り組む。

問 管理事務所の仮看板の設置を。

都市建設課長 提案を受け設置済み。

問 公園駐車場の白線再塗装を。

都市建設課長 白線の再塗装は行う予定。

問 駐車場から公園へのスロープ前に駐車禁止の表示を。

都市建設課長 車止めポールを設置。

問 街灯の照明切れと暗くする。

都市建設課長 照明委託業者から毎月報告あり適宜修繕し、剪定する。

過剰包装への町のこれからの取り組みは

問 日本がごみ大国といわれている。環境省のデータによると日本人のごみ焼却量は1年間に1人当たり320kg。2位のフランスが180kg。3位ドイツが140kg。日本がダントツである。商品が必要以上に紙や発泡スチロール等で包まれていることを過剰包装という。町民への周知を図り過剰包装を断りごみの減量化へ町の取り組みを伺う。

産業環境課長 本町では資源循環型社会の推進に向けて、4Rの取り組みを進め、日常生活や事業活動によって排出される一般廃棄物の減量化・資源化を推進するなど、環境負荷や処理経費の節減に向けて、各種施策を講じている。ごみの出し方・分け

方パンフレットを発刊し、すぐごみになるものはもらわない、マイバック持参、レジ袋や過剰包装を断るリフューズを掲載、町民に周知を図る。

問 多摩市では、各小学校に出張して環境出前教室を実施。ごみのゆくえや分別・減量の方法について写真やグラフを使ったスライドショーを用いてわかりやすく説明。本町小学校への取り組みを伺う。

産業環境課長 出前講座によるごみ行政や環境問題は嘉手納小学校より依頼を受け実施。小学4年の学習内容に廃棄物関連があり、毎年度美化センターへ施設見学している。

嘉手納の偉人野國總管ゆるキャラ、ぬいぐるみの作製を

問 嘉手納の偉人野國總管の知名度の向上と町民に愛されるゆるキャラ作製が、戦国時代の武将並のイケメンぬいぐるみの作製を提案し行政の考えを問う。

産業環境課長 野國總管まつり実行委員会としても、知名度の向上は必要。議員提案も含めて慎重に検討する。

町内の不登校について問う



安森 盛雄

詳しくは動画をCheck→



問各学校の不登校の人数は。

教育指導課主幹 小学校28人、中学校11人、前年度より増加傾向にあり、全児童生徒の在籍数から算出した不登校率は、小学校が3・0%、中学校が2・5%となっており、小学校で県平均2・5%と全国平均1・7%を上回っている状況。

問30日以内の欠席人数は。

教育指導課主幹 令和4年度における10日以上30日未満欠席の児童生徒の数は、小学校59人。中学校13人。となっており、こちらも前年度より増加傾向にある。

問 来年3月までには増加する可能性も十分にあると思われるが、その要因というのはどのように考えているか。

教育指導課主幹 今年度の10月末

までに不登校児童で、小学校が現在14人、中学校で13人ということ、中学校のほうではすでに昨年度の数まで増えており、3月までの状況からすると、今後増加することが予想される。

増加の要因は、まず長期化するコロナ禍による生活環境の変化によって、生活リズムが乱れやすい状況が続いたということが一つ。学校生活において、様々な制限がある中で友達との交友関係を築くことが難しかったということが挙げられ近年の不登校の増加につながったと考える。また、昨年度から今年度にかけて、発熱症状がある児童生徒については、従来の出席停止という扱いから、今年度からは欠席ということになっており、不登校の数が増えたというふうに見える。

問 児童生徒が学校復帰した場合、学習にはついていけるのか

教育委員会の見解は。

教育指導課主幹 休んでいる間もタブレットを使った学習を実施。教室に入れない場合は、別室で学習できる環境を作っている。

町内の生徒指導状況を問う

問 各学校の生徒指導状況について伺う。

教育指導課主幹 小中学校における問題行動の発生状況は、今年度10月までにいじめの認知件数が54件、うちSNSによるトラブルが1件、器物破損が1件、交通事故による被害が4件となっている。

動物虐待を問う

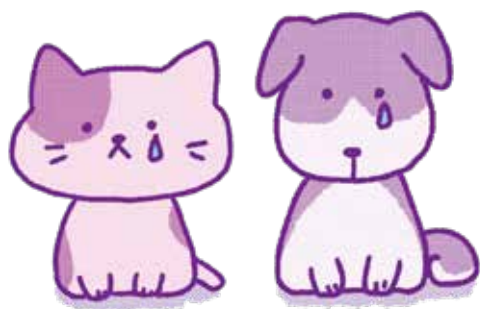
問 町内での動物虐待の現状について伺う。

産業環境課長 令和元年度に猫の虐待行為が1件、令和4年度に犬の多頭崩壊が1件、今年度11月末時点で猫の虐待が3件との報告を受けている。

問 もう少し詳細に話せる部分で

どういう虐待があったか。

産業環境課長 令和元年度は、猫の死骸が玄関先に置かれていた状況があった。犯人は捕まっていないため原因の特定には至っていない。令和4年度の犬の多頭崩壊については、不動産会社より報告を受け現場を確認して、動物愛護センターと連携



動物虐待は犯罪です。

をし、裁判所への訴訟を実施し解決に至った。今年度においては、同一の箇所ですら2件、野良猫の死骸が置かれていることがあり、こちらも原因の特定には至っていない。直近の1件は目撃者があり、学生と思われる3人組の子どもが子猫を地面にたたきつけるといった動物愛護法に抵触する犯罪行為があった。自治会や警察より報告を受け、すぐにHPへ注意喚起の情報を掲載した。今後は、広報紙に注意喚起に関するチラシを折り込むことを準備している。



古謝 友義

詳しくは動画をCheck→



物価高に対する支援策を問う

問 時限的に、ごみ袋の値下げはできないか。

産業環境課長 ゴミ袋の値下げは検討していない。

問 来年度の野國總管商品券プレミアムを30%以上にできないか。

産業環境課長 次年度のプレミア

問 葬斎場使用料を、建て替えまで値下げは検討できないか。

産業環境課長 町民利用に関して使用料金変更が可能か検討していきたい。

問 最近の航空機騒音は町域すべてに及んでいる。そこで住宅防音空調維持管理費を、現在恩恵を受けていない世帯に年5千円の給付はできないか。

基地渉外課長 今後とも国に要請していきたい。

問 町営住宅の家賃減額は検討で

きないか。

都市建設課長 家賃の減額を行う必要性は低いと考える。

安心、安全なまちづくりについて

問 旧水釜交番より西側の歩道幅は極端に狭い。子供たちの通学路になっており、早めの対策をして欲しい。

都市建設課長 道路幅の関係上、歩道を大きくすることは厳しい。

問 西区自治会の北側は密集市街地になっており、災害時の対応が厳しい場所である。解決策は考えているか。

都市建設課長 すぐに解決できる問題ではないと認識している。

問 町道48号線と水釜・大木線が交わる交差点におゆずりエリアを作れないか。

都市建設課長 町としても警察と連携して解決策を模索していきたい。

問 町道73号線の落石対策は考えているか。

都市建設課長 整備工法を模索して対策を図っていきたい。

問 最近いたるところで、落書きが増加している。対策は考えて

いるか。

総務課長 警察に被害届を提出しており、今後は捜査に協力することで落書きの防止抑止につなげていきたい。

問 落書きはなぜ消さないのか。

総務課長 被害額が確定していないので、まだ消せない状況。



漁港付近の堤防と比謝川大橋の落書き

住宅事情について問う

問 水釜第二町営住宅の安全祈願

祭も済み、着工が始まった。既存の施設よりも26戸程増加している。現在町営住宅の入居希望者の人数は何名か。

都市建設課長 町営住宅の空き家待ち希望者は67名、公営住宅の申し込みは51名。

問 民間の賃貸住宅の空き情報は把握しているか。

都市建設課長 把握していない。

問 町営住宅に住んでいる65歳以上の独居高齢者を、専用集合住宅を建築することにより、問題解決になると思うが見解を問う。

都市建設課長 高齢者向けに特化した住宅を整備することは計画していない。

問 町として町内の宅地を代替え資産として取得する考えはあるか。

都市建設課長 代替地としての町有地確保については、必要性は十分にあると考える。

問 町指定の霊園以外にたくさんの墓が点在している。整理して住宅地として活用できないか。

都市建設課長 都市計画の方針として、墓地の整理、適正な配置、公営墓地などへの集約を促進していくものと考えている。



福地 義広

詳しくは動画をCheck→



嘉手納基地パループ内への防錆整備格納庫建設計画について



町民の声が掲載され町内に配布されたチラシ

問 10月30日から11月30日まで実施された各区行政懇談会での本計画への意見・質問・疑問等及び町長への回答について伺う。

町長 東区では、同施設について国は安全であるというが、確認の方法がないと。何か問題が発生したときに検査する方法があつてしかるべきである。事故発生時における措置とその後の対策がしっかりと示されるのであれば、町民も安心できるのではないかと。質問があり、町としては、万が一にもトラブルや

事故が発生してはならないとの基本的な考え方があり、町民の不安を払拭するような対策を万全に講ずることや、万が一にもトラブルや事故が発生することがないように、安全対策の徹底を国に継続的に要請していく旨の答弁をした。また大規模な施設の必要性に対する疑問や、防錆整備格納庫の運用面に関する協定の締結の必要性についての質問もあった。これに対しては、協定を結ぶことは難しいと思うが、日米協議の内容をまとめた国の説明資料が我々に提示されており、それが一つの証になるのではないかと答弁をした。その他、防錆整備格納庫問題等に関する私の姿勢に対する意見や、町民の意見を吸い上げてほしい旨の意見もあった。これに対しては、行政は行政としての立場でこの問題に臨む必要がある旨、答弁した。

中央区では、町長の考え方が当初の反対から、その後容認に変わったことについて、町民に説明する大会を望んだが、役場に確認すると、大会は開かず行政懇談会で対応するとの説明を受けたとの質問があった。また

今後大会を開く意思はあるかという旨の質問をいただいた。この団体から容認に変わったとの指摘については、私は容認してはいない旨を答弁した。なお、当該施設に対する私の考え方の説明方法については、以前その方から電話確認があつた際、役場からは行政懇談会ではなく町の広報誌でお伝えする旨の説明をしたこと。また実際に8月号広報誌に町の考え方の記事を掲載している旨答弁した。住民説明会の開催については、町の考え方は既に広報誌で全世帯に周知しており、また役場への当該説明会を求める声もほとんどないことから、住民説明会の開催は考えていない旨、答弁した。

西浜区では、同施設の安全対策に関する質問、つくつてもよいが水への影響を心配するものがあった。これに対しては、日米の一番厳しい基準を適応して対策を講ずることになっている。事故が発生しないよう継続して国に要請していく旨答弁した。

西区では今年の4月28日に国から説明があつた防錆整備格納庫の安全の根拠を確かめるため7項目の確認等があり、防衛局

を通して確認する旨答弁した。

問 町民大会開催については、他の町民から要望はないとのことだが、議会では私、當山議員、金城議員から必要だとの指摘があつた。行政懇談会では説明したのか。

町長 議会での指摘については答弁してない。

問 広報かでの記事掲載や行政懇談会によって町民の理解は得られたと考えるか。

町長 一定の理解をいただけたのではないかと考えている。

問 今回の問題で、嘉手納町への思いはあるがここで孫たちを育てるわけにはいかないとの声が寄せられている。町民の理解が得られているとの答弁には大きな疑問がある。何とか工事を止めたいと考えている。今後の町の対応について再度確認したい。

町長 防錆整備格納庫からの万が一にもトラブルや問題が発生することがないように万全な対策を国に求めていくことが安全対策につながると思っている。町が抱く不安を払拭してもらうというところで、万全の措置を確実に講じてもらうように引き続き国に求めていきたい。



仲村 一

詳しくは動画をCheck→



比謝川沿いを問う

問 比謝川の堰の撤去が進む中、比謝川の水位が下がって川底の姿が見えるようになった。比謝川沿いの遊歩道は、堰の近くから旧中央公民館のところまで途切れている。今後屋良城跡公園のリニューアル工事も控えている中、遊歩道をつなぐタイミングだと思うが今後の計画は。

都市建設課長 本河川は県の管理で町単独での計画は困難。堰撤去後の河川の状態を観察し、どのような方法で比謝川の魅力を上げることができるか検討していきたい。

問 比謝川自然体験センターの建設に伴い県営住宅から東側に遊歩道へ降りていくスロープもきれいにカラー舗装されたが雨天時に滑るところがあると聞く、今後の対応は。

都市建設課長 カラー舗装の表面は滑り止め仕上りになっていて、日光の当たらない箇所には、日光の当たらない箇所には、高圧洗浄機にて洗浄作業を行うが、改善されないようであれば滑りにくい素材の工夫を施していきたい。

問 令和元年に救命道具の設置を提起し取り付けてもらったが、現在の配置を見てみると間隔の空いている箇所がある。追加設置はできないか。

都市建設課長 最長で70mとなっている状況。この70mの距離が適切か相談しながら追加設置については検討していきたい。



町営団地北側の護岸沿いの階段

問 水釜町民住宅北側に海岸へ降りていく階段があり、車道側に降りていく階段で4・5段位から転倒するのを見かけた。年配の方や体の不自由な方のために

何箇所かに手すりを取り付けることはできないか。

都市建設課長 県が管理する堤防で、以前にも同様な提案があり、護岸を管理している中部土木事務所へ相談している。

乳がん検診について

問 乳がんは女性の9人に1人の割合でかかるといわれている。本町の乳がん検診の状況を伺う。

検診を受けられる年齢は。

町民保険課長 乳腺超音波検査エコー検査が20歳から39歳、マンモグラフィ検査が40歳以上となっている。

問 費用はどれくらい掛かるのか。

町民保険課長 乳腺超音波検査は自己負担2千円で生活保護を受けている方・非課税世帯の方は無料となっている。

マンモグラフィ検査も同じく自己負担2千円で、40歳の節目の年齢の方・生活保護を受けている方・非課税世帯の方・70歳以上の方が無料となっている。

問 那覇市・金武町・北谷町とかは無料で行っていると思うが改

善する予定はあるのか。

町民保険課長 近隣市町村の状況も確認しながら調査研究を進めていきたい。

ごみ行政を問う

問 令和4年に生ごみの回収実験を行っているが、本町の今後の取り組みは。

産業環境課長 今年度一般廃棄物減量推進審議会を立ち上げており、分別回収実証実験の結果の確認やごみ減量化の取り組みの見直し等を審議する予定となっている。

問 分別化に向けて今後の予定は。

産業環境課長 新たなごみの分別というところも検討課題かと思っている。

問 以前、発展途上国の子どもたちへワクチン接種・サンゴの保全を目的に、自治会事務所でペットボトルのふたの回収を行っていたが町民に広く告知はできないか。

産業環境課長 各自治会においても独自の取り組みもあるので、各自治会長に伺いながら考えていきたい。



当山 均

詳しくは動画をCheck→



「防錆施設建設」政府に対し
各種環境基準値の調査及び調
査結果公開を求めよ

問「有害物質が外部に漏れてい
ないかのチェックは誰が行うの
か」との問いに対する回答は。

基地渉外課長 沖縄防衛局より、
「大気中の排出物質については
米側において排出基準がJEG
S等の基準に適合しているかを
定期的（年1回）に検査する」
との説明を受けた。排水や有害
物質に関する対応については、
まだ確認が取れていない。

問排気や排水基準値の厳守、漏
出防止策の徹底、有害廃棄物の
有無など懸念される環境管理基
準に関し、JEGSのどの基準
に従って運用されるのか政府に
確認し、町も把握しておく必要
があるのでは。

基地渉外課長 大気中の排出物質

以外についても同様に把握して
いきたい。

町男女共同参画計画の 推進に関し

推進に関し

問第2次計画においては「性的
マイノリティに対する支援」が
掲げられているが、具体的施策
及び取り組み・支援対応を問う。
企画財政課長 1点目、行政サー
ビスにおける対応、人権相談、
アンケート等の必要な性別記載
欄見直し。2点目、性的マイノ
リティの児童生徒については、
個別の状況に応じ児童生徒の心
情等に配慮した対応を支援す
る。

教育指導課主幹 自らの性や性的
志向に悩み、自分らしく振る舞
えない。誰にも相談できない子
どもたちも存在する。そのよう
な子どもたちにとって、学校が
性の多様性など、多様な価値観
を受け入れる環境であることが
必要である。

本人、または保護者の申出を
受けて全職員で共通理解を図り
ながら、支援を行う児童生徒の
発達段階に応じて、理解促進や
差別、偏見を生まない等の教育

を推進している。

問計画に基づく施策については
「進捗状況の確認・評価を毎年
度行う」旨の記載があるが、毎
年度公表する考えもあるのか。

企画財政課長 進捗状況の確認、
評価を毎年度行うとともに、公
表も含めて検討している。

問本町も男女共同参画施策を積
極的に推進していく姿勢を町民
に示すためにも条例化は必要だ
と考える。については、男女共同
参画社会を取り巻く環境の変化
を踏まえ、北谷町及び宜野湾市
男女共同参画推進条例等を参考
に「町男女共同参画推進条例」
の制定を求める。



第2次嘉手納町男女共同参画計画書
(令和5年度～令和10年度の計画期間)

企画財政課長 令和3年度に実施
した町民意識調査結果におい
て、多くの町民に男女共同参画
内容が周知できていないことが
判明したため、町民に対する内
容周知に注力していきたい。条
例化については、計画の今後の
進捗状況を確認しながら検討し
たい。

自治会長報酬額の増額に 向けた検討経緯を問う

問令和4年12月議会において、
自治会長の報酬月額増額を提
案したところ、「10年近く給与
が同額であり、社会情勢の変化
等を踏まえ検討の余地がある」
との答弁があった。検討経緯を
問う。

総務課長 平成25年度から令和5
年度の間の本町職員給与の推移
を確認したところ、主任主事級
で3.5%、係長級で1.6%の
上昇が確認された。その上昇率
を踏まえ、自治会長の給与月額
については2%から4%程度の
増額を検討すべきではないかと
の判断に至った。現段階で確定
した金額等を示すことはできな
い。



新垣 貴人

詳しくは動画をCheck→



商工業の活性化へ向けて

問健康増進の施策において町民の健康増進へのインセンティブとして、地域商品券や施設利用料等に変換できる健康ポイント制度の提案を行ってきた。その調査研究の経過を伺う。

①町内店舗等で活用できる健康ポイント制度を提案してきたが、その検討状況は。

町民保険課長 紙媒体やデジタル化で検討をしたが、町民ニーズに合致する事業内容の調査研究が必要。

問道路を通行以外の目的で利用できる取組が全国的に広がっている。本町でも賑わいのある道路空間を構築し、町民が非日常の空間を楽しむ道路の活用ができないか。

②新町通りで、毎月1回日曜日の歩行者天国の実施を提案する

が見解は。
産業環境課長 町内への誘客は、活性化に必要な。実施可能か検討したい。



歩行者天国で新町通りに賑わいを

健康寿命の維持について

フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階だ。自分の状態と向き合い、予防に取り組むことで老化の進行を緩やかにし、健康に過ごせる。高齢者がいつまでも元気に活動し、家族や友人、地域の人たちとながら、社会参加しながら毎日を過ごすには予防と対策がカギとなる。次を問う。

問フレイル予防対策の取組は。
福祉課長 介護予防教室、ミニデイ、長寿健診、健康講話等を実施。

問フレイル予防を一元化する応援プログラムの策定を提案する
が見解は。

福祉課長 一元化は広範囲に渡り難しい。各課の事業計画に基づき実施したい。

自主財源の確保に向けて

令和3年12月定例会においても同様の質疑を行った。調査研究の経過を伺う。町のHPに広告や、公共施設への命名権を付与するネーミングライツは、広告料による自主財源の確保や、広範囲への町内地元企業のPRが期待できる。次を問う。

問本町でネーミングライツが可能な公共施設は。

企画財政課長 野球場や兼久体育館、陸上競技場や文化センター等が該当。

問ネーミングライツ制度を提案してきたが検討状況は。

企画財政課長 推進する考えだ。公共施設の担当課で検討する必要がある。

スポーツの推進を図れ

パークゴルフは、親子や孫と一緒に楽しく遊べる数少ない健康的なスポーツだ。競技志向よりも、むしろコミュニケーションを重視したスポーツだ。本町は読谷村と使用協定を結び、安価で利用できる。北谷町も令和5年度から供用開始を実施している。嘉手納町民のスポーツ推進の観点から次を問う。

問公費支出による読谷パークゴルフ場の利用実績は。

社会教育課長 令和4年度343人。5年度10月末現在で150人。

問健康増進の観点から今後の利用拡大へ向けての取組は。

社会教育課長 広報誌へ掲載、チラシ配布、HPやライン等で周知を図る。

問北谷町のパークゴルフ場とも利用協定を提案するが見解は。

社会教育課長 利用協定の締結に向け、北谷町と協議を行っている。



高原 妙子

詳しくは動画をCheck→



がん患者アピランスケア用品購入費補助について

乳がんや子宮がんといった女性特有のがんをはじめとする、がん治療に伴う頭皮の脱毛や乳房切除などの外見の変化に悩む方々が外見の変化を気にせずスムーズな社会生活が送れるように、医療用のウィッグや乳房補正具等（アピランスケア用品）の購入費補助が全国の自治体で実施されている。女性の健康と自立を応援するために問う。

問 嘉手納町でも医療用のウィッグや乳房補正具等の購入費補助ができるのか。

町民保険課長 沖縄県では次年度、令和6年度より予定はしているが、補助対象経費、また補助金額はまだ確定していないとのこと。他の市町村も今、検討していることも聞いており、近

隣の市町村の動向も確認しながら、また必要であれば、次年度補整対応等も考えながら検討していく。

ヤングケアラー支援について

問 ヤングケアラーで悩む児童生徒を支援するための取り組みについて、その後の進捗状況を伺う。

子ども家庭課長 町民のヤングケアラーへの認知、理解促進を図るため、11月の児童虐待防止推進月間の機会に、ヤングケアラーに関するリーフレットを広報かでな11月号と合わせて、全戸配布した。

教育指導課主幹 県の子ども家庭課が今年度11月に開設したLINEを活用した相談窓口、沖縄県ヤングケアラーチャンネルの周知も行っていきたい。



災害時の保育園体制について

問 台風などの災害時の保育園体制の内容と取り組みを伺う。

子ども家庭課長 火災や地震などの災害の発生に備え、緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担、避難訓練計画等に関するマニュアルに基づき災害発生時に児童の安全を確保するため、計画的に訓練を実施している。

問 台風が発生して小中学校が休校となると、保育園も休園の連絡を役場からするのか。

子ども家庭課長 台風等の判断基準は各園において定められているものと認識している。基本的な基準は同じであると考えているが、様々な状況に応じて、園のほうで判断し対応している。

物価高騰対策について

日本の経済は、長いコロナ禍を乗り越え、本格的な経済再生に向けた歩みを始めようとしている一方、長期に及ぶ物価高騰で日々の生活は大きな負担を抱えている。今般、政府が決定した「デフレ完全脱却のための総

合経済対策」は、各地域の自治体の実情に合わせて支援策を進めていくことができる「重点支援地方交付金」の予算が追加された。

問 「重点支援地方交付金」の概要と非課税世帯への7万円の配布の嘉手納町のスケジュール、予定を伺う。

企画財政課長 デフレ完全脱却のための総合経済対策に掲げる物価高から国民生活を守る事項についての対応として国が交付金を交付することにより、エネルギー、食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を通じた地方創生を図ることを目的としている。

福祉課長 今回の補正予算で計上している。2月中の支給が第1回目ということで考えている。

問 重点支援地方交付金の中の推奨事業メニューは検討されているか。

企画財政課長 推奨事業メニューでは、現在国から示された事業期間内にどのような事業が実施できるのか検討している。



石嶺 邦雄

詳しくは動画をCheck→



本町の職員 人事配置は

問 本町の財産とも言える職員、現在いる人材を最大限に活用して行政運営を図っていく事が重要だが、何年をめどに人事異動が行われているか。

副町長 通常、本町職員の人事異動については、在職3年から5年をめどとしている。しかし、実際には担当する業務の状況や各部署間の人事配置人数の違い等、様々な要因が絡むため、1年での移動や、5年以上在職する者もいるのが現状。

問 職員の希望に配慮した異動となっているのか。また、現在はその時期にどのような手法で希望の聞き取りが行われているのか。

副町長 現在は管理職を除く常勤職員については、毎年十一月

初旬、全職員に人事に関するアンケート調査を行っており、異動希望の有無、異動希望がある場合、希望する部署を第三希望まで記載、その他、人事に関する意見等も記載する方式となっている。

問 早期に退職する職員などもこれまでにはいたかと思われるが、希望の聞き取りの中に、どうしても避けたい部署も含めることはできないか。

副町長 地方公務員においては、採用される職種により配属される部署に、ある程度制限はあるが、例えば家庭の介護など、家庭的な事情や、あるいはハラスメント、あるいは自分の体調等、様々なやむを得ない事情がある場合には、職員個々の事情に応じ、人事異動における配属先を検討する場合もある。希望調査における意見等の記載欄には、そのような事情等について記載されることもあり、その場合は考慮する材料としている。

スポーツ

ツリーゾムの促進を

問 現在、野球場及び兼久体育館

のリニューアルと続いているが、この間の3月に嘉手納町スポーツツリーゾム基本構想を受けて、今後、陸上競技場のリニューアルはどのように考えているか。

企画財政課長 県内は国内有数のスポーツキャンブ地となっており、観光振興や青少年の健全育成など、地域の活性化に大きく寄与している状況である。本町においても令和4年度にはスポーツツリーゾム基本構想を策定し、プロスポーツチームの合宿誘致に向けて取り組むことが決定している。令和5年度からはスポーツツリーゾム基本計画策定委託業務を実施し、基本構想で示されている競技団体への具体的なヒアリング及び本町へ招へいを行い、誘致に向けた課題を整理していくこととしている。嘉手納陸上競技場のリニューアルについても競技団体の招へいを十二月と一月に予定しているところであり、今後のプロスポーツチームの合宿受入れに必要な課題が見つかり、施設の改修が必要になった場合はリニューアルに向けた計画を推進していく。

問 基本構想の中で、消費額に占める約50%が宿泊費、経済波及効果を高めるためには、宿泊施設が重要になるとあるが、ホテル誘致の検討はどうなっているか。

企画財政課長 スポーツツリーゾムにおいて、経済波及効果を最大限に発揮するためには、宿泊地は絶対に必要であると考えているが、本町の現状は宿泊地を建設する広大な用地もなく、現状では厳しい状況にある。

問 ホテル誘致に関しても外資を入れるとかでなく、PFIで町内企業に建築させ運営を任せるような手法で誘致を検討できないか。

企画財政課長 宿泊地の建設の必要性が決定し、事業実施となった際には、地元企業を構成員としたPFI等も検討していかなければならないと考えている。



スポーツキャンプに向けて改修が必要



奥間 常明

詳しくは動画をCheck→



実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）返済の実状は

問 コロナ禍対策として、政府による中小企業者へ融資の返済が開始された。そこで次の点について伺う。

①町内事業所の融資件数。②融資総額、平均額、最高額、最少額。③金融機関別返済状況。④返済に関する相談件数。⑤倒産（閉店）件数。⑥行政側の支援策として、地方税・国保税の延納、分納、延滞金免除等の手段を講ずるべきではないか。

産業環境課長 ①約80件②約13億1220万円、平均1640万2500円、最高額6千万円、最少額約50万円③金融機関によってばらつきはあるが、概ね半数程度が滞りなく返済されている。琉銀9割、沖銀5割、海銀2、3割返済されている。

④具体的な件数は把握されていないが、3割から4割程度。主な相談内容は、返済の猶予。⑤34件。⑥分納相談63件。納付が困難な場合には、生活状況を鑑みて計画的に納付していただく体制を取っている。

さんさん保育所駐車場予定地に（仮称）子ども未来センターを

問 1階部分駐車場、2・3階部分にひとり親家庭、生活保護家庭の子ども達、外国籍保護者の子ども達、障害を持った子ども達、家庭での学習環境が整わず学校の勉強についていけない学習困難児など、様々な困難を抱える子ども達に無償の学習塾、学習支援、社会体験学習、食育等を通して、生きる力を育む施設の設置を求める。

子ども家庭課長 現在行なっている各種事業を次年度も継続実施し、事業を検証していきたい。施設整備については、必要性について検討していくことになる。

問 仕事勤めで、頼れる人のいない親にとって、朝の子どもを預ける時間帯が1分1秒でも早ければ助かる。そこで、現状7時30分から早めることができないか。

子ども家庭課長 諸事情に鑑み変更は考えてない。



さんさん保育所用地内に、子ども未来センターを！

水道料金値上げについて

問 水道料金値上げに反対した立場から質問する。昨今の値上げラッシュで、国民の生活はいつそう厳しい経済状態に陥っている。何点が伺う。

①これまで同様に基地使用対価料収入分で、消費税を非課税にするのか。②県企業局からの値上げについての詳細な説明を。③基地内PFAS土壌調査費が含まれているのか。④県内でも2番目に水道料金が廉価であ

る。もっと内外にPRして、転入促進の誘い水にしては。

上下水道課長 ①今後において消費税を課税せずに町民に還元する計画はない。②令和5年度に約6億円の赤字見込み、料金改定を行わないと内部留保資金がなくなり安定的水道水供給に影響を及ぼす。③対策費は料金改定に含まれる。④今後継続的に広報誌、ホームページ等で掲載し、水道料金が安いことを広くPRしていきたい。

交通安全対策について

問 ①町道50号線と53号線交差点付近のI氏宅側カーブミラーの取り替えと交通安全対策を。②西浜区コミュニティセンター付近交差点の交通安全対策進捗状況は。③西区町道48号線（T氏宅付近）蛇行したS字カーブは歩行者確認がしづらい。

都市建設課長 ①どのような対策ができるか検討し、先ず看板設置を図っていく。資材が届き次第取り替えたい。②交差点のカラー化を施す計画をしている。③車両の速度抑制が図られないか検討したい。



宇榮原 京一

詳しくは動画をCheck→



本町の人材育成事業は

問人材育成会組織構成は。

社会教育課長 会長、理事長、副理事長、理事、評議員及び監事で構成。

問貸与金の償還滞納状況は。

社会教育課長 1年を超える滞納者はいない。

問助成事業の補助対象条件と令和3・4年度の実績は。

社会教育課長 町に1年以上住民登録する者。令和4年度のみ実績は1件19名で30万円。

問報奨金の対象条件と令和3・4年度の実績は。

社会教育課長 1年以上住民登録で理事長が特に必要と認めた者。令和3年度12件21名で40万5千円。令和4年度は25件、38名で64万千円。

問交流事業の成果と課題は。

社会教育課長 大山町児童交流事業

業、海外短期留学派遣事業ともに異なる生活環境や文化歴史を学び貴重な体験活動や交流を通して視野を広げ社会性を育み郷土に対する関心が育まれ、課題は交流事業で天候に左右されやすく海外留学事業は円安物価高、現地のホームステイ先の確保など。

問嘉手納町雇用促進資格取得支援事業の令和3・4年度の実績と課題は。

産業環境課長 令和3年度は23件、131万千円。令和4年度は11件、101万7千円。課題は、周知不足の面がある。

観光振興に関して

問本町の誇れる観光資源は。

産業環境課長 道の駅かでな、比謝川自然体験センターが代表的な観光資源ではないか。

問「道の駅かでな」は年間52万人が訪れるが、町全体にとってのメリットは何か。

産業環境課長 特産品の販売や観光情報の発信で町全体への回遊を促進しその波及効果がある。

問これまでの本町の観光振興計画書策定に関わる費用は。

産業環境課長 第一次観光振興基本計画策定委託業務が982万8千円。第二次観光振興基本計画策定が689万4000円。第三次観光振興基本計画策定基礎調査業務が1089万円。

問計画書に基づく事業効果及び達成率は。

産業環境課長 現時点では把握できていない。
問観光客の滞留、滞在、リピーターの定着を促進するため民家（空家含む）、民地を活用した官民共同での民泊事業が展開できないか。



嘉手納を代表する観光資源「道の駅かでな」と「比謝川自然体験センター」

産業環境課長 どのような手法で民泊を展開できるか検討する。
問これまでの検討結果に対しての見解とその根拠は。

産業環境課長 現在のところ検討までは至っていない。

問町民アンケート及び他自治体の調査結果は。

産業環境課長 嘉手納町の宿泊施設数は5件。読谷村40件、北谷町35件。県内の宿泊施設数が多い宮古島市247件、石垣市220件、那覇市219件。民泊に関する町民アンケートはこれまで実施していない。

かでな未来館の利用状況は

問かでな未来館は、昨年9月に開館した。開館から1年が経過するが施設のそれぞれの利用状況と課題について伺う。

中央公民館長 周知不足が課題。インスタグラムなどSNSを積極的に活用し、周知拡大を図る。

かでな未来館利用状況

施設		24年9月	25年4月
		延人数	延人数
1階	コミュニティホール	4844	4916
2階	歴史民俗資料室	971	526
3階	共用型オープンスペース会議室	539	909
	共用型オープンスペース共有スペース	116	287



田崎 博美

詳しくは動画をCheck→



米軍基地被害難民の 救済措置について

町 嘉手納基地から派生する災害
についていかなる対応・措置を
考えているか。

総務課長 米軍基地に起因し派生
する災害については、嘉手納町
防災計画において、米軍基地に
おいては行政権が及ばないこと
などから、現時点で災害予測を
することは極めて難しい状況で
あるとしながらも、住民地域に
隣接していることから、防災上
の措置を確保することは重要と
している。更には排ガスあるい
は騒音等による健康被害につい
ては、実際の状況等も踏まえ対
応していくことになるかと思
う。

町 町では騒音被害の緩和のため
に空調機の使用頻度が増えるこ
とによりエネルギー使用料金が

上がるため、第二種区域（東区
と西浜区の一部）防音住宅空調
機器稼働費補助金が支出されて
いるが施策と内訳は。

基地渉外課長 同補助金は、嘉手
納基地から派生する航空機騒音
が著しい本町内において特に
騒音が激しく土地の買い取り
移転補償の対象となる第二種区
域に所在する国の防音工事を実
施した住宅に住んでいる方に世
帯を単位として当該防音工事に
より設置された空調機器の稼働
費の一部を予算の範囲内で補助
することを目的としている。初
年度は該当世帯数が把握できな
いことから、第二種区域に住ん
でいる東区610世帯、西浜区
101世帯の合計711世帯に
上限額1万円として予算総額
711万円としている。令和4
年度の実績としては申請件数
176件、交付件数が101
件、支給総額が94万2733
円となっている。

町 住民が米軍基地被害から受け
る痛みや過度な負担を緩和する
対策は。

基地渉外課長 本町では長年にわ
たり国に対して空調機器に係る
稼働費の補助を要請しており、

昨年度より第二種区域防音住宅
空調機器稼働費補助金の支給を
開始している。

法定外普通税及び ふるさと納税を活用し 自主財源の確保を図れ

町 法定外普通税の導入が図れな
いか。他自治体における導入状
況等を注視していくとのこと
だったが進捗状況は。また、ふ
るさと納税の過去3年分の実績
と取組状況は。

企画財政課長 令和4年度決算に
おける一般会計の自主財源は
34.9%と県内平均よりも高い
数字が想定され、自主財源は確
保できていると認識している。
法定外普通税を導入することに
よる事務負担などを増やしてま
で導入する時期には至っていな
いと考えている。ふるさと納税の実
績は、令和2年度、寄付額1億
7402万5千円、1万437
7件。令和3年度、1億265
7万5千円、1万1389件。
令和4年度、1億1617万2
千円、1万132件。

町 市町村長は総務大臣の評価基
準によって固定資産税の価格を

決定しなければならない。この
総務大臣の定める評価基準は、
全国统一し、市町村間の不均衡
をなくそうとするものとされて
いる。嘉手納町で賦課期日、評
価及び価格の決定が適正にされ
ているか。

税務課長 適正に賦課評価及び
価格の決定をしている。

町 土地の評価は原則として各一
筆に評点数を設け、その評点数
により別途売買実例額から求め
る評点あたりの価格を乗じて一
筆ごとの評価を求めているか。

税務課長 評価基準によると住
宅の評価は、各筆の宅地につい
て評点数を設定し、当該評点数
を評点1点当たりの価格に乘じ
て各筆の宅地の価格を求める方
法によるものとされ、嘉手納町
でもそのとおり行っている。た
だし、評点1点当たりの価格に
ついては、売買実例額から求め
るものではない。



中部地区町村議会議員・事務局職員親善スポーツ大会

令和5年11月10日、議員間の情報交換・交流を兼ねて、西原町パークゴルフ場にて中部地区議長会主催のパークゴルフ大会が行われ4名の議員が参加した。



町村議会広報研修会

令和6年1月31日、那覇市の自治会館において、越地真一郎氏を招いて、議会広報研修会が行われ、より町民の読みやすい紙面づくりを目的に研鑽を深めた。



議会情報をチェック!

議会インターネット中継
配信開始!



嘉手納町議会ホームページでは、定例会・臨時会の会期日程や一般質問通告書、意見書・決議等を掲載し、情報を発信しています。また、インターネット中継を行っています。ホームページや携帯からでもご覧いただけます。

主な議長公務日程

11月
2日 嘉手納町商工会合同式典・祝賀会
7日 沖縄県町村議会議長会定例総会
28日 12月1日 町村議会議長会全国大会(東京都)

12月
11日 三連協要請行動
15日 海外子弟研修生歓迎会
26日 三連協要請行動
1月
4日 野國總管宮参拝
5日 ニライ消防出初式
7日 はたちの集い
19日 中部地区議長会定例会
22日 23日 防錆整備格納庫施設視察(岐阜県)
26日 三連協要請行動
30日 三連協目視調査

その他24件

題字紹介

議会だより



嘉手納小学校 5年
きんじょう ゆ あ
金城 有杏 さん

議会だよりという文字を書いて、いつもより小さい紙に5文字書くので、思ったよりも太く書けなかったので、太く書くように意識しました。また、漢字とひらがなのバランスがむずかしかったです。今回は、議会だよりという文字を書かせていただきありがとうございました。

職人・人物紹介

【パナハート嘉手納店】

上間 靖 さん 我如古 盛一 さん



昭和37年、父の上間正良が上間テレビ店を開業し今年で61年になります。昭和63年に父からお店を引き継ぎ今年で34年目、現在パナハート嘉手納店として、電化製品販売・修理・

取付等「あなたの街の電気屋さん」として地域の困りごと解決を合言葉に妻と従業員と共に頑張つて参りました。今後も宜しく願ひ致します。

「パナハート嘉手納店」〇九八一九五六一二四二三

